



ふれあい
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

夢と希望が空にきらめく夏 in 南あわじ市

うだるような暑さが続いています。ようやく梅雨は明けましたが、先月は、全国的に40℃に迫る災害級の暑さともいえる状況が続きました。「うだる」とは「茹だる」が変化したもので、暑気のために体がだるくなる意でも使われます。

一方で、その暑さを吹き飛ばす夏の風物詩と言えば、各地で開催される夏祭りや、夜空を彩る花火大会ではないでしょうか。コロナ禍でしばらくの間、中止などを余儀なくされてきましたが、今夏は全国的に復活の兆しを見せています。日常から離れ、音楽や踊りににぎわい、子どもたちは屋台の遊びや食べ物に大喜びで、地域の方はもちろん、各方面からお越しいただく方にも、南あわじ市の魅力を堪能し、広く知っていただく絶好の機会となることでしょう。

この広報が発行される頃には、第42回を迎えた

歴史ある慶野松原花火大会が開催され、淡路島内外から多くのお客様を迎え、夏の夜空を彩る美しい花火に大いに盛り上がりをもせたことと思います。

今月の花火の予定としましては、14日に灘漁港グラウンドにて第5回夕涼みの集いが開催されます。花火に加え、4年ぶりの屋台の出店も予定されていますし、15日には丸山地区で納涼ふるさとふれあい祭り、21日には沼島地区で花火大会、27日には賀集地区で納涼祭が開催されます。26日に阿万海岸海水浴場で開催される「アマプロジェクト きばつとらんかよ!阿万」では、地域の団体らが企画したイベントで、ユニバーサルビーチ体験やSUP体験、和太鼓やフラダンスなどのステージイベント、そして約300発の花火が打ち上げられます。夜空、そして、海面をきらめかせる花火が楽しみでなりません。

なにより、各地域において、花火大会や夏のイベントの復活に向け、多くの関係者の方々にご尽力をいただいております。厚く感謝申し上げます。

猛暑が続くこの時期、熱中症のリスクが大幅に高まります。市民の皆さまにおかれては、猛暑対策のみならず、新型コロナやインフルエンザなどの感染予防にもご配慮いただくなど体調管理に十分気を付けながら、地域で盛り上がるイベントにお出かけになって、心に残る素晴らしい夏のひとときをお過ごしになってはいかがでしょうか。



なでしこデイサービスセンターにタマネギを寄贈する南あわじ市身体障害者福祉協会の平一孝会長

南あわじ市身体障害者福祉協会
会員が作ったタマネギを障害者施設へ寄贈

6月28日、南あわじ市身体障害者福祉協会が、市内の障害者を利用する福祉施設のなでしこデイサービスセンターといちばん星に同協会員が作ったタマネギそれぞれ100キを贈りました。

これは、物価高騰への支援やフードロス対策、農産物の地産地消の促進を目的としたもの。同協会の会員らは、自身も身体に障害があるものの同じ障害を持つ人への支



なでしこデイサービスセンターでは寄贈されたタマネギを天井で利用者に提供しました。

援につながればとの思いでの取り組みを始めました。今後は贈る施設を増やし、フードパントリーに合わせ、支援を行う予定です。



啓発活動を行った市推進委員会のメンバーと園児ら

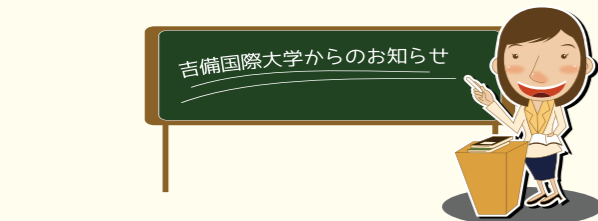
社会を明るくする運動
犯罪のない社会をめざして

「社会を明るくする運動」南あわじ市推進委員会が7月15日、ショッピングセンター・シーパで同運動の啓発イベントを行いました。

同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生について理解を深め、安全・安心な地域社会を築くことを目的としています。毎年7月は同運動強調月間・再犯防止啓発月間と

なっており、全国的に啓発活動が展開されています。

イベントでは、南あわじ市保護司会の小島一会長から市推進委員長の守本市長に、内閣総理大臣のメッセージが伝達されました。また、警察官の制服を着た北阿万保育所の園児9人が、買い物に訪れた人に元気に声掛けをしながら啓発グッズを配布しました。



さなぶり祭で学生交流

6月24日にさなぶり祭を開催しました。地域創成農学科の1年生だけでなく、海洋水産生物学科の学生も沢山参加しており、田植え作業は大いに盛り上がりました。現在、機械作業が主流の中、実習ではあえて手作業を取り入れることで、農作業を体験的に学べる貴重な授業となりました。この醍醐味を知ることができるのは、大学とフィールドが近いという本学の利点のひとつだと感じます。



田植え作業を体験する学生ら

オープンキャンパス

日時 8月6日(日)
11:00~15:30
場所 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス
内容 学科紹介、ミニ講義、個別相談など
申込み 入試広報室
☎0120-25-9944

また、さなぶり祭恒例の泥相撲では、各学年を超えての交流となり、活気のある時間となりました。学内のイベントを経験することで、授業だけにとどまらず、多くのことを経験し、成長できる機会になればと感じています。市民の皆さまには温かく見守っていただければ幸いです。

☎同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎42-4700

寄付ありがとうございます

■南淡路ロータリークラブから、青少年奉仕活動の一環で、子どもたちの豊かな感性が養われることを願い、アフタースクール事業の体験プログラム用物品が寄贈されました。寄贈された電子ピアノやウクレレなどは子どもたちが音楽に親しみ楽しめるような体験プログラムで活用されます。



南淡路ロータリークラブ会員と守本市長

■淡路三原ロータリークラブから、市の防災事業に役立ててほしいと、防災備蓄食料300食が寄贈されました。寄贈された防災備蓄食料は、7年間の保存が可能な調理不要のレトルト食品で、わかめご飯やカレーピラフなど6種類。有事の際に活用するため市の防災倉庫に備蓄しています。



淡路三原ロータリークラブ会員と守本市長